

ほん
おすすめ本を
しょうかい
ご紹介します



2023

7

月号



まいにちを
たのしくしよう!

スーちゃんは、かだんのすなをつかって、だいすきなおにんぎょうのために、バースターケーキをつくります。でもね…。

『おはようスーちゃん』
ジョーン G.ロビンソン 作 絵
中川 李枝子 訳 アリス館



なが
ながあいかみのけ、
おもしろ〜い!

かみのけが長かったら、
なにができるかな?
おさかなもつれちゃうし、
せんたくものもほせちゃう!

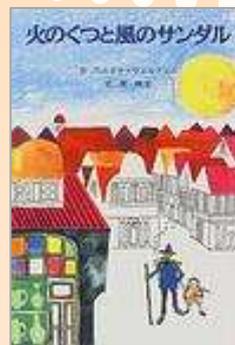
『まあちゃんのながいかみ』
たかどの ほうこ さく 福音館書店



おばけだぞお〜
こわいぞお〜

おばけの住む屋敷に人間が
引っこしてきた! おばけ
たちはどうにか人間をおいだ
そうとして、おどかします。

『おばけのひっこし』
さがら あつこ 文 沼野 正子 絵 福音館書店



ほかのだれでも
ない、ぼく。

誕生日の朝、テーブルの上には
ケーキと二足のくつが置いて
ありました。そのくつをはいて、
お父さんと夏休みの旅に
でかけます。

『火のくつと風のサンダル』
ウルズラ・ウエルフェル 作 関 楠生 訳 久米 宏一 絵
童話館出版



えんぴつ
鉛筆が
できるまで

この鉛筆はどこからくるの?
材料の木が切られて、鉛筆に
なるまでに関わる「人」のこ
とがわかります。

『いっぼんの鉛筆のむこうに』
谷川 俊太郎 文 坂井 信彦 ほか 写真 堀内 誠一 絵
福音館書店



ドイツの昔話

夜中の12時になると、棺の中
から毎晩まっくろなお姫さまが
起きだしてきて…。
このお姫さまは一体だれ!?

『黒いお姫さま』
ヴィルヘルム・ブッシュ 再話 上田 真而子 編 訳
佐々木 マキ 絵 福音館書店

